

平成20年度 国立赤城青少年交流の家企画事業
「自分発見コミュニケーションツアー」
～「気づき」の次の一步はあなたの歩幅でいい～

< 実 施 報 告 書 >

国立赤城青少年交流の家

期 日 ・ 場 所 : 平成20年6月14日(土)～平成20年6月15日(日)
独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
〒371-0101 群馬県勢多郡富士見村大字赤城山27

事 業 名 : 自分発見コミュニケーションツアー
～「気づき」の次の一步はあなたの歩幅でいい～

趣 旨 : 複雑化する社会環境で生きる青少年に対して、コミュニケーション手段として不可欠な「ことば」の様々な表現や伝達の方法と思いの伝え方を身につけるために講義や演劇を切り口としての体験的に学ぶ機会を提供することで、自己表現のできる青少年の健全育成に資する。

事業の特色 : 「ことば」に関わる様々なジャンルの高い見識・技術を有する有識者をゲストに迎え、「ことば」の持つ力や魅力について広く知識を得る。さらに、コミュニケーション力の向上を意図し、教育方法・組織として確立されている「演劇」の手法を用いて参加者とその集団の課題達成を経験する活動を展開する。そして人間関係づくりの基盤となる「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」を幅広い体験的学習から高め、コミュニケーションの楽しさを味わう。
また、コミュニケーション能力の向上を意識する参加者を幅広く募集することで、多様な構成員の学習集団を編成し、参加者一人ひとりの様々な変容を共感できるようにする。

募 集 人 員 : 高校生・学生・社会人 40名

参 加 者 : 41名

参加者地域 : 栃木県 : 1名、群馬県 : 33名、埼玉県 : 2名、千葉県 : 1名、東京都 : 2名、
新潟県 : 1名、富山県 : 1名

企画のポイント : 全ての参加者に全ワークショップを巡ってもらい、体験の中から自分にあった「気づき」を持ちかえってもらうために、趣向を変えた6講座を用意した。

広報のポイント : 高校生から社会人までを対象とした。学校へのメール便送付、社会教育施設などでのチラシの配布により、幅広い参加者を募った。

プログラム展開 : < 6月14日(土) 1日目 > < 6月15日(日) 2日目 >
10:00 受付 7:10 朝のつどい・朝食
10:30 開講式 9:30 ⑤ワークショップ:インプロ・シンキング I
11:00 ①AAP(ラボラトリー方式の体験学習) 講師:池上奈生美氏(株式会社インプロジャ
12:30 昼食 パン)
13:30 ②ワークショップ:アナウンス講座 12:30 昼食・休憩
講師:新木睦子氏(FMぐんまアナウ 14:00 ⑥講義・ワークショップ:

ンサー)

15:15 ③ワークショップ：演劇表現
講師：邊見いづみ 氏（日本教育演劇道
場らくりん座）

17:00 ④ワークショップ：歌で想いを伝える
講師：MAMA（浦野ゆり子 氏）

19:30 夕食・交流会
22:30 就寝準備

頭のいい人悪い人の話し方
講師：樋口裕一 氏（白藍塾長・作家・京産
大客員教授）

15:00 閉講式

成 果：趣向を変えた6つのワークショップを巡ることで、違った自分を発見する手がかりとなった。プログラムの配置については、満足のいく感想が寄せられた。参加者間のネットワークづくりの一助となった。

今 後 の 課 題：演劇の手法に重きを置いて申し込んだ参加者と、コミュニケーションに重きを置いて申し込んだ参加者間で、ニーズの違いがあった。高校生から60歳を超えている方までの幅広い年齢層の参加者であった。特に高校生にとっては若干難しい内容と感じられるワークショップもあった。



論理的な話し方：樋口裕一講師



インプロシニング：池上奈生美講師